



日本史 B 問題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. これは日本史Bの問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうかを確認のうえ、解答すること。
2. この問題用紙は22ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうかを受験票と照合し確認すること。
5. 解答は、すべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は持ち帰らず、必ず提出すること。
11. この問題用紙は必ず持ち帰ること。
12. 試験時間は60分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次に示す史料A、史料Bを読み、以下の設問に答えなさい。なお、適宜、表記を改めた箇所がある。

史料A

首相及蔵相より発表せられた声明を見て、記者は痛く失望した。いま、両声明^(ア)の要旨を摘めば、凡そ次に掲ぐるものに尽きる。

『中央地方の財政緊縮と、一般国民に対する消費節約の勧誘とに依^{より}て、公私経済が引締^{ひきしま}り、中央財政に借金^{あつ}の迹を絶ち、ここに解禁の機が熟して其^その実施を見るに至ったのである。併し解禁が実施せられたからとて、徒^{いたずら}に樂觀に過ぎ緊張の気分^{ゆる}を弛めてはならぬ。金解禁の結果は、為替に安定をもたらし、商取引は仕易^{しやす}くなるが、併し今日直ちに経済界が堅固になったといふことは出来ぬ。要は財政の整理緊縮、国民の消費節約の程度が、このまま持続して始^{はじめ}て我が経済^(イ)の基礎は安固となるものである』。(中略)

これ、一方には、金解禁を軽く取扱^{とりあつか}ひながら、他方には、其^その無準備な無理実施を自白せるに等しく、即ち内心^{はと}殆んど確信を欠き、不安の情問^とふに落ちずして語るに落つる醜態と見るも強^{あなが}ち僻^{ひがめ}目ではあるまい。

政府の態度が斯^{かく}の如くである以上、財界は輪をかけて疑惑と恐怖に襲はれること^や已むを得ぬ。自然^{これ}之を奇貨として、不逞^{ふてい}の徒をして財界惑乱を企てしめるスキ^(ウ)を与へる。記者は殊に斯種の悪企者を憎み、その厳罰を要求する。併しながら、政府が金解禁に臨み、必要な計画と確信とを欠き、財界を疑惑と恐怖に陥れたとせば、政府の責任は一層重大なりと云はざるを得ない。(中略)

是^{こゝ}に於て、記者は故松方公が明治三十年に金本位を創設した態度を回想して、その流石^{さすが}に立派^(ニ)であったことを讚嘆せず^(オ)にみられない。公は衆議院に於て其提案を説明していふ、『凡そ貨幣制度の改正^なを為すに当り注意すべきは、物価、貸借、租税の負担其他現在の関係に變動を生ぜざらしむるの点にあります。この点に就ては最も深く注意をしまして、現行一元銀貨の実価(即ち為替相場)に均しき新金貨を発行することに致しました』と。(中略)之^{これ}を今回の声明と比較^{あに}して豈雲泥の相違ではないか。(以下略)

史料B

仮にある人が待合^{まちあい}へ行^よって、芸者を招^よんだり、贅^{ぜい}沢な料理を食^くべたりして二千円を費消したとする。(中略)この使^{もち}われた金はどういう風^{ふう}に散^ちばって行^いくかというのに、料理代となった部分^{ぶぶん}は料理人等の給料^{きゅうりょう}の一部となり、また料理に使^{もち}われた魚類、肉類、野菜類、調味品等の代価^{だいげ}及びそれ等の運搬費^{うんぱんひ}並びに商人の稼^{かせ}ぎ料として支^し払^はわれる。(中略)これらの代金^{だいぎん}を受^う取^とりたる農業者^{のうぎやう}や、漁業者、商人等は、それを以^{もつ}て各自の衣食住^{いしょくじゆ}その他の費用^{けいよう}に充^つてる。それから芸者代として支^し払^はわれた金^{かね}は、その一部は芸者の手^てに渡^わって、食料、納税、衣服、化粧品、その他の代償^{だいじやう}として支^し出^{しゅ}せられる。(中略)

この人が待合^{まちあい}で使^{もち}ったとすれば、その金は転々^{てんてん}して、農、工、商、漁業者等の手^てに移^{うつ}り、それがまた諸般産業^{しよばんさんぎん}の上^{うへ}に、二十倍にも、三十倍にもな^なって働^{はたら}く。ゆえに、個人経済^{こじんけいぎ}から云^いえば、二千円の節^{せつ}約^{やく}をする事^{こと}は、その人にと^とって、誠^{まこと}に結構^{けつこう}であるが、国の経済^{こくノけいぎ}から云^いえば、同一^{どうい}の金^{かね}が二十倍にも三十倍にもな^なって働^{はたら}くのであるから、むしろその方が望^{のぞ}ましいわけである。(中略)

かく言^いえばとて、私^{わたし}は待合^{まちあい}行きを奨^{しょう}励^{れき}する次第^{さいだい}では決^{けつ}して無^ない。(中略)

言^いうまでも無^なく、如何^{いかん}なる人の生活^{せいかつ}にも、無^む駄^だという事^{こと}は、最^もも悪^{あく}い事^{こと}である。(中略)しかしながら、如何^{いかん}に儉^{けん}約^{やく}がよいからと云^いって、今日^{こんにち}産業^{さんぎん}の力^{ちから}を減^{げん}退^{たい}^(キ)させるような手^て段^{だん}を取^とる事^{こと}は好^{この}ま^ましからぬ事^{こと}だ。(中略)

現^{いま}に、帝国議事堂^{ていこくぎじだう}、内務省庁舎^{ないむしやうてい}、警視庁^{けいしちやう}の例^{れい}を見^みても、これらの工^{こう}事^じを止^とめたために、第一^{だいいち}に請負人^{せいひにん}が職^{しやく}を失^{しな}う。またこれに従^{したが}う事務員^{じむいん}、技術者^{ぎじゆしや}、労働者^{らうどうしや}及び工^{こう}事^じの材料^{そくぢゆう}の生^{せい}産^{さん}者^{しや}、その材料^{そくぢゆう}を取^とり替^かへ商人^{しやうにん}等の総^{すべ}ては、節^{せつ}約^{やく}または繰^{くり}延^{のび}べられたるだけ職^{しやく}を失^{しな}うのである。これらの人々^{ひとびと}が職^{しやく}を失^{しな}う事^{こと}は、やがて購^{かひ}買^{ばい}力^{りき}の減^{げん}少^{しょう}となり、かような事^{こと}が至^{いた}る所^{ところ}に続^{つづ}出^{しゅ}すれば、それに直^{ちか}接^{けつ}関係^{かんけい}なき生^{せい}産^{さん}業^{ぎやう}者^{しや}も、将来^{こゝろ}における商品^{しやうひん}の需^{もと}要^{よう}の減^{げん}退^{たい}を慮^{おもんばか}って、自^{おん}分の現^{いま}在^{ざい}雇^こ傭^うせ^せる労働者^{らうどうしや}を解^と雇^くして、生^{せい}産^{さん}量^{りやう}を減^{げん}少^{しょう}するようになる。その結果^{けつこ}は、一般^{いぱん}の一大^{いちだ}不^ふ景^{けい}氣^きを招^{まね}来^らするに至^{いた}るのである。(中略)

近ごろ世間で唱えておるところを聞くと、所謂緊縮節約は金解禁のためである、と云っている。それは先ずよいとして、この金解禁についても、我が国民は、もっと慎重に考えるの必要がある。(以下略)

(出典：高橋是清「緊縮政策と金解禁」(昭和4年11月)『随想録』)

問 1 史料A下線部(ア)の「首相」とはだれか。その人物の姓名を漢字で解答欄に書きなさい。

問 2 史料Aの下線部(イ)に関連して、この声明を出した内閣が進めた協調外交は、財政の緊縮にも関わるものであった。この内閣の下で調印された、主力艦建造停止の延長などを含む条約を何というか。適切な語句を解答欄に書きなさい。

問 3 史料Aの下線部(ウ)に関連して、金輸出再禁止の予測に基づく投機により巨額の利益を得たと噂された財閥の重役や、下線部(ア)の「蔵相」が暗殺された事件を何というか。適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。

問 4 史料Aの下線部(エ)は、ある戦争の賠償金によって可能となった。この戦争を何というか。適切な語句を解答欄に書きなさい。

問 5 史料Aの下線部(オ)に関連して、下線部(エ)の「故松方公」は、1880年代に大蔵卿、大蔵大臣として重大な貨幣・金融制度改革を主導した。この改革を経て銀行券発行権を喪失した金融機関を何というか。適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。

問 6 史料Bの下線部(カ)に関連して、賀川豊彦・杉山元治郎らが1922年に設立した小作人の全国組織組合を何というか。適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。

問 7 史料Bの下線部(キ)に関連して、満州事変の頃から、軍部と結びついて植民地にコンビナートを建設するなど、軍需・重化学工業を中心に台頭した企業集団を、一般に何というか。適切な語句を漢字4字で解答欄に書きなさい。

問 8 陸軍皇道派の青年将校らが中心となって、史料Bの「私」を含む要人を殺害し、一時は国会を含む国政中枢の占拠にまで至ったクーデタを何というか。適切な語句を解答欄に書きなさい。

問 9 政府の緊縮方針について、史料Aの「記者」、史料Bの「私」はどのように捉えているか。解答欄にそれぞれ60字以内で書きなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

政治権力は空間のみならず時間をも支配しようとする。政治権力が時間を秩序づける方法のうち、天体の運行に基づき、時間の流れを年・月・週・日の単位で区切って示す方法が暦法であり、また、ある年を起点に年を計算する方法が紀年法である。

日本では中国で作られた暦を使用してきた。初めて日本で作られた暦は、江戸時代に が作成した である。その後、何度か暦が改められたが、いずれも月と太陽の運行を組み合わせる太陰太陽暦であり、太陽の運行に従う太陽暦が採用されたのは明治時代である。⁽⁷⁾

一方、元号は紀年法の一つであり、中国・前漢の武帝のときに始まり、中国周辺⁽⁴⁾の国々にも広がったが、現在は日本だけが使用している。日本が独自の元号を最初に使用した例は だとされるが、継続使用されるようになったのは701年の 律令による。日本の元号は、中国古典に典拠を求め、漢字二⁽⁷⁾字で定められることが多い。中国の影響は大きいですが、中国の元号ではなく独自の元号を使用してきた。日本の元号は一貫して天皇と関係があった。

改元はさまざまな理由で行われた。吉兆の出現や天変地異の発生にともなう改元は多い。また、干支紀年法でいう辛酉の年と甲子の年には大変革が起こるといふ中国の讖緯説に基づき、辛酉と甲子の年に改元を行うことが慣例となった。901年、醍醐天皇のときに行われた への改元が慣例化の始まりである。

元号を制定するのは形式上、天皇であったが、元号は時間支配と関わるため、政治権力のあり方が影響を及ぼしてきた。摂関政治の時期には藤原摂関家の改元に対する影響力が強くなり、院政期には上皇や法皇が主導権を握った。足利政権⁽¹¹⁾や徳川政権も改元に深く関与した。また、南北朝時代には二つの元号が併存し、⁽¹⁾南北朝が統一されると元号も統一された。戦乱の続いた戦国時代には、公式の年号とは異なる私年号も使用された。

頻繁な改元には批判もあった。江戸時代には、中国の明朝や清朝が採用している⁽¹⁾一世一元の制を導入すべきだと主張する者もあり、この制度は明治改元に際し

て公式に採用された。一世一元の制は皇位継承と密接に関わる制度であるから、皇室典範などによって改元の仕組みが整備されていった。アジア・太平洋戦争後、^(*)天皇制のあり方が大きく変わると、皇室典範が改められて、元号に関する規定はなくなった。それでも元号は継続して使用され、1979年に制定された元号法によって、一世一元の制は維持された。

問 1 元号について述べた次の文のうち正しいものはどれか。上記の文章をよく読んで、A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 元号は政治権力のあり方の影響を受け、異なる元号が併存したり、私年号が使われたりすることもあった。
- B 元号は日本固有の伝統的制度であり、天皇と密接不可分の関係にあって、常に天皇一代につき一つの元号が対応してきた。
- C 元号は中国で生まれ、周辺の国々に広がった。日本は中国に朝貢して中国の元号を使用してきた。
- D 元号は紀年法の一つであり、時間を表示するための便宜的な機能を果たすものであって、特に政治的な意味はない。
- E 日本国憲法は国民主権を定めており、元号の決定権も主権者である国民が有し、元号は天皇と関係がなくなった。

問 2 空欄 と に入る語句の組み合わせとして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 高橋至時 貞享暦
- B 高橋至時 寛政暦
- C 高橋景保 寛政暦
- D 渋川春海 宣明暦
- E 渋川春海 貞享暦

問 3 下線部(ア)に関する説明として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、
解答欄にマークしなさい。

- A 王政復古の大号令が出されて新政府が発足すると、ただちに太陽暦に切り替えた。
- B 明治政府は、五箇条の御誓文で開国和親の方針を示すとともに、西洋で用いられていた太陽暦を採用した。
- C 明治5年12月31日まで太陰太陽暦を用い、明治6年1月1日に太陽暦に移行した。
- D 明治5年12月3日を明治6年1月1日として、太陰太陽暦から太陽暦に移行した。
- E 明治政府は、大日本帝国憲法発布に際し、西洋で用いられていた太陽暦を採用することを決定した。

問 4 下線部(イ)に関連して、中国皇帝を頂点として中国と周辺諸国との間に形成される国際秩序を冊封体制と呼ぶが、これに関連する事柄の説明として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 『魏志』倭人伝によれば、紀元57年に倭の奴国の王の使者が後漢に朝貢し、光武帝から印綬を授けられた。
- B 『後漢書』東夷伝によれば、239年に邪馬台国の女王卑弥呼は魏の皇帝に使いを送り、「親魏倭王」の称号と金印をおくられた。
- C 中国に隋、ついで唐という統一帝国が成立すると、天皇は遣隋使・遣唐使を派遣し、中国から日本国王の称号を与えられた。
- D 元は日本に対して朝貢を要求したが、鎌倉幕府が拒否すると、元軍が二度にわたって襲来した。これを文禄の役・慶長の役という。
- E 足利義満は、中国の明との国交を開くに際し、明の皇帝から日本国王の称号を与えられた。

問 5 空欄 , , に入る語句の組み合わせとして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="4"/>	<input type="text" value="5"/>
A	大化	大宝	天曆
B	乙巳	庚午	辛酉
C	大宝	養老	天曆
D	大化	大宝	延喜
E	延喜	養老	和銅

問 6 下線部(ウ)に関連して、聖武天皇の後に女性天皇が即位した8世紀半ばには、天平感宝などの四字からなる元号が使われている。この時期の天皇を即位順に並べたものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 推古天皇 — 舒明天皇 — 皇極天皇
- B 持統天皇 — 文武天皇 — 元明天皇
- C 孝謙天皇 — 淳仁天皇 — 称徳天皇
- D 桓武天皇 — 平城天皇 — 嵯峨天皇
- E 後陽成天皇 — 後水尾天皇 — 明正天皇

問 7 下線部(エ)に関連して、次の元号を冠した事件のうち、室町時代の事件でないものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 正長の徳政一揆
- B 慶安の変
- C 嘉吉の変
- D 永享の乱
- E 応永の乱

問 8 下線部(オ)に関連して、江戸時代の元号に関わる出来事の説明として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 徳川政権が大坂冬の陣で豊臣氏を滅ぼすと、まもなく元和に改元された。戦国時代以来の戦乱が終わり平和になったことを「元和偃武」と言う。
- B 徳川秀忠から家光に将軍が代替わりすると、翌年、寛永に改元された。武家諸法度(寛永令)で、参勤交代が義務づけられた。
- C 将軍徳川家宣が幼少で死去すると、享保に改元され、徳川吉宗が将軍職を継いだ。
- D 光格天皇が即位すると、翌年、天明に改元された。光格天皇は尊号一件と呼ばれる事件で、幕府の老中、田沼意次と対立した。
- E ペリーが来航して幕府と日米修好通商条約を結んだ年に、安政への改元が行われた。

問 9 下線部(カ)に関連して、長期間にわたる紀年法としては神武天皇の即位を起点とする神武紀元(皇紀)があった。これに関する説明として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 明治政府は、神武天皇即位日である2月11日を天長節として祝日とした。
- B 明治政府は、神武天皇即位日である11月3日を紀元節として祝日とした。
- C 1940年は神武天皇即位から2600年目にあたるとして、「紀元二千六百年記念式典」が挙行された。
- D 神武天皇即位は、西暦では645年にあたる。
- E 神武天皇即位は、西暦では紀元前2600年にあたる。

問10 下線部(キ)に関連する出来事の説明として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A GHQは人権指令を出したが、「一億総懺悔」「国体護持」を唱える幣原喜重郎内閣はその実行をためらい、総辞職した。
- B GHQは神道指令を出して政府による神社・神道への支援・監督を禁じ、国家神道を解体した。
- C GHQは、日本の軍国主義と天皇崇拜を否定するためには天皇制の廃止もやむを得ないと考えたが、アメリカ政府の反対で断念した。
- D 日本国憲法では、天皇の地位は臣民の総意に基づくとされ、天皇は国政に関する権能をもたないとされた。
- E 日本国憲法が公布されると、天皇はいわゆる「人間宣言」を行って、天皇が現御神あまつみかみであり、日本民族が他民族に優越するという神話を否定した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

6世紀頃より日本に伝来した仏教は、奈良時代には国家の保護を受けた一方で、日本の社会に浸透し根付く過程で、土着の神の信仰(神祇信仰)との融合が起こった。いわゆる神仏習合と言われる現象である。神仏習合は、奈良時代前期に神社の境内に神宮寺を建造したり、寺院に鎮守神が祀られたりするなどの形で始まった。

平安時代には、神仏の習合がさらに進み、本地垂迹説が成立した。神社の中には、本地仏の仏像や神像が置かれるようになった。また、平安時代に確立した天台宗と真言宗は、奈良仏教の南都六宗と異なり、山岳の地に伽藍を営み修行の場とするなど、神仏習合の影響を強く受けた。平安中期になると、密教を中心とした仏教の他に、二十二社を中心とした神祇信仰、陰陽道や山岳信仰や修験道も盛んになり、多種多様の信仰が複合的に行われるようになった。平安末期になると、末法思想が広まり、極楽往生を願い、阿弥陀仏を信仰する浄土教が流行した。末法思想には、釈迦の国インドから遠く離れた日本に生きる衆生を、仏が神の姿をとって救済するという本地垂迹が見られる。

その後、鎌倉時代末期から室町時代にかけて、神が本地で仏を垂迹とする反本地垂迹説が現れた。日本の神を主とし、仏を従とするこの神道思想は、蒙古襲来以降の国家意識の高揚が生んだと言われている。伊勢神宮外宮の神官であった度会家行は『類聚神祇本源』を記し、伊勢神道を創設し、神道理論の整備を行った。室町時代には、吉田兼俱が儒教・仏教をも取り入れた総合的な唯一神道を説き、反本地垂迹説の立場を大成させた。

戦国時代になり、キリスト教が日本に入ってくると、織田信長は、キリスト教に寛容な姿勢をとる一方で、仏教勢力を徹底的に敵対視した。秀吉の時代になると、秀吉は、キリスト教が自身の目指す国家体制の妨げになると考え、宗教統制を行い、寺院を復興・保護した。江戸時代初期には、幕府はキリスト教を禁じ、既存の宗教勢力には統制を強めた。この時期の世俗の権力は、一見、宗教を支配統制し服従させたかのように見えるが、むしろ、秀吉や家康が死後自らを神格化して祀られることを望んだとされるように、世俗の権力は、神仏の力を背景に宗

教と一体になって支配の力を生んだとも言える。

江戸時代前期には、幕藩体制の安定のために、上下の身分秩序や忠孝・礼儀を重んじる考え方が望まれ、儒教の持つ意義が増大する。中でも影響力が大きかったのが、京都の鍼医の子である 1 が提唱した、儒教と神道を統合した 2 である。これは、伊勢神道などを土台にしたもので、神の道と天皇の徳が一体であると説いた。元禄期になると、国学が生まれ、賀茂真淵や本居宣長がそれを発展させた一方で、平田篤胤が復古神道(ケ)を大成させた。こうした儒教の受容から国学と神道の発展という江戸時代の一連の流れは、幕末の尊王攘夷論に大きな影響を与えた。その一方で、この頃の庶民の信仰は、伊勢神宮へ参詣する御蔭参りが爆発的に流行したり、西国三十三カ所・四国八十八カ所などの聖地をめぐる巡礼が盛んになったりするなど、多様であった。

明治時代になり、神道国教化の方針を採用した明治政府は、1868年に神仏分離令(ケ)を發し、神道と仏教を区別し、神社と寺院を分離して独立させることに尽力した。しかし、神道国教化は国民には十分受け入れられなかった。このように、近代以前の日本では、神祇信仰と仏教が融合した状態が一般的であったが、近代以降、国家によってそれらが明確に区別されるようになったのである。

問 1 下線部(ア)について、仏教のもつ鎮護国家の思想によって国家の安定を図った聖武天皇の発願で作られた仏像はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|---------------|--------------|
| A 唐招提寺金堂盧舎那仏像 | B 薬師寺金堂薬師三尊像 |
| C 飛鳥寺釈迦如来像 | D 法隆寺夢違観音像 |
| E 東大寺盧舎那仏像 | |

問 2 下線部(イ)に関連する記述として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 在来の神々が仏教のもとに秩序づけられたとはいえ、仏教に優位性があるというわけではなかった。
- B 権現には、仏が神として現れた形態だけでなく、その逆もある。
- C 本地垂迹説とは、神が衆生済度のために、仏の姿となって現れたものとする説である。
- D 権現信仰が強い熊野はこの世の浄土と考えられ、上皇や貴族が熊野詣を行った。
- E 疫病や災厄をもたらす神に対する在来の信仰と、故人の冥福を祈る仏教思想が融合して聖人信仰が広がった。

問 3 下線部(ウ)の開祖と本山の組み合わせで正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 空海 — 比叡山 B 最澄 — 高野山 C 空海 — 高野山
- D 最澄 — 比叡山 E 空海 — 金剛山

問 4 下線部(エ)について、多種多様な信仰の説明として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

A 修験道の源流は、密教化した宗教実践が在来の山岳信仰と結びついたものとされ、呪術者の役小角が開祖と言われている。

B 血・死・出産などを不浄とする穢の観念は、本来仏教にあったもので、神仏習合によって、特定の聖域から女性を排除する女人結界の考えが成立した。

C 穢の観念は、仏教に基づいた物忌・方違の風習とともに、平安貴族の中で日常化していった。

D 二十二社とは、朝廷の崇敬を受け奉幣された神社の総称のことで、格式が三つに分けられている。伊勢、石清水、賀茂は社格が中位に位置付けられている。

E 陰陽道は、安倍晴明らが成立させた占いや呪術の体系で、平安中期の貴族からは忌避され、使われなかった。

問 5 下線部(オ)について、浄土教の流行は寺院建築にも影響を与えた。阿弥陀如来像が本尊として安置されている、藤原頼通が宇治に開いた寺院は何か。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

A 醍醐寺

B 平等院

C 六波羅蜜寺

D 法界寺

E 興福寺

問 6 下線部(カ)について、戦国時代が終わる頃から、幕藩体制が確立するまでの過程における宗教統制の説明として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 江戸幕府による寺請制度によって、個人の自由な信仰が許されなくなったため、神道や修験道、陰陽道は衰退していった。
- B 秀吉は、キリスト教を取り締まる過程で、南蛮貿易も禁じた。
- C 当初からキリスト教布教を禁じていた秀吉は、宣教師が神社仏閣を破壊しているという理由からバテレン追放令を出した。
- D 江戸幕府は禁教令を出したが、長崎の浦上などには、密かに信仰を持続した潜伏キリシタンがいた。
- E 神社神職の統制法令である諸社禰^ね直^{ちき}神主法度では、両部神道を学ぶことが命ぜられた。

問 7 下線部(キ)について、家康を祀ることを目的に造られた神社として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 日光東照宮 B 住吉大社 C 太宰府天満宮
- D 靖国神社 E 豊国神社

問 8 空欄 と に入る言葉の組み合わせとして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="text" value="1"/> | <input type="text" value="2"/> |
| A 野中兼山 | 垂加神道 |
| B 林羅山 | 両部神道 |
| C 谷時中 | 両部神道 |
| D 山崎闇齋 | 垂加神道 |
| E 吉川惟足 | 吉川神道 |

問 9 下線部(ク)について、この時期の国学の発達に関連する記述として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 平田篤胤の復古神道は、神道における仏教や儒教との結びつきを受け入れた上で、日本古来の信仰を見出そうとした。
- B 本居宣長は、『源氏物語』の注釈を進め、源氏物語に描かれる「もののあわれ」を批判的に捉えた。
- C 賀茂真淵の思想の影響を強く受けた本居宣長は、『古事記伝』を記した。
- D 平田篤胤の復古神道の「惟神の道」という考え方は、地方の農村部では激しい抵抗を受けた。
- E 水戸藩の『大日本史』編纂事業の過程で起こった水戸学は、国学者らと対立し、仏教を排斥する傾向に異を唱えた。

問10 下線部(ケ)の神道国教化と神仏分離令に関連する記述として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 1906年の神社合祀政策では、民俗学者・博物学者の南方熊楠らが、神社の統廃合に協力した。
- B 神仏分離令をきっかけに、仏教は神道と明確に区別され、仏教界は発展・繁栄していった。
- C 明治政府は王政復古と政教分離の立場から、神道国教化の方針をとった。
- D 明治政府は成立当初、徳川幕府と異なり、キリスト教を禁教の対象としなかった。
- E 帝国大学教授久米邦武は、「神道ハ祭天ノ古俗」という論文をきっかけに、神道家らの批判を受け、辞職に追い込まれた。

〔IV〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

日本経済は1955～73年の間、年平均10%前後の経済成長を実現した。いわゆる「高度成長期」である。しかし、こうした高度成長期にあっても、不況期がなかったわけではなく、好況期と不況期を繰り返しながら高い経済成長を実現したのである。

まず、世界的な景気上昇の下、日本でも素材産業や電力などでの設備投資需要が高まり、1955～57年は とよばれる好況期となった。1956年度の白書における「もはや戦後ではない」という言葉が、この時代を象徴していた。国民生活では「^(イ)電化元年」といわれた1953年以降、家庭電化製品が急速に普及した。その代表例が、^(ウ)「三種の神器」と呼ばれるものである。

この好景気は国際収支の悪化を招いた。国際収支を改善するために政府と日本銀行は金融を引き締め、多くの企業は減益、資金不足に陥り、いわゆる「なべぞこ不況」となった。しかし、1958～61年は再び設備投資ブームとなる好況期が到来した。

その後、1962年の外貨危機を起点とした不況期をはさみ、1963～64年は再び好景気に沸いたが、その後は、当時戦後最大といわれた不況を経験したのである。この不況期においては、金融を緩和しても設備投資がなかなか回復しなかった。しかし、1965年11月からは再び景気上昇に転じ、70年7月までの長期にわたる、 とよばれる好況期となり、68年には資本主義諸国の中でアメリカに次ぐ世界第2位の国民総生産()を実現した。

日本がこのような高度成長を実現できた背景の一つとして、通貨の安定や自由貿易体制を挙げることができる。世界は、ドルを基軸通貨として、自由・無差別・多国間交渉主義を原則とする、国際通貨基金()、関税及び貿易に関する一般協定()を中心とした体制となり、日本もこれに参加した。

高度成長期におけるもう一つの特徴として、世界の平和と安定に向けた各国の動きがみられたことも挙げられる。日ソ関係では、「自主外交」をうたった第3次鳩山一郎内閣がソ連との国交回復に向けて1956年に首相自らモスクワを訪れ、日ソ共同宣言に調印してソ連との国交が正常化した。日米関係では、1951年に^(エ)

締結された日米安全保障条約(旧安保条約)から約9年の歳月を経た60年に日米^(ア)相互協力及び安全保障条約(新安保条約)が調印された。

軍備拡大を競っていた米ソにおいても、ベトナムなどでの緊張関係は継続しながらも対立が緩和する動きも生まれた。ソ連では東西平和共存路線が打ち出され、1959年には米ソ首脳会談が実現した。また、62年のキューバ危機を契機として核戦争への懸念も高まり、63年に部分的核実験停止条約、68年には核兵器拡散防止条約が締結された。

問1 文章中の空欄 , に入る、それぞれの好況期に付けられた名前の組み合わせとして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | <input type="text" value="1"/> | <input type="text" value="2"/> |
|--------------------------------|--------------------------------|
| A いざなぎ景気 | オリンピック景気 |
| B 神武景気 | いざなぎ景気 |
| C 岩戸景気 | いざなぎ景気 |
| D いざなぎ景気 | 岩戸景気 |
| E 神武景気 | 岩戸景気 |

問2 下線部(ア)の当時の通称と、当時その白書を発行した組織の組み合わせとして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 経済白書 — 経済企画庁
- B 通商白書 — 経済企画庁
- C 経済白書 — 経済安定本部
- D 経済財政白書 — 経済安定本部
- E 通商白書 — 経済安定本部

問 3 下線部(イ)の文章に続く白書の記述はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 経常収支黒字は依然大幅であり、金融機関のグローバルな活動と相まって活発な資本輸出国である。さらに、結果として世界最大の債権国である。
- B 我々はいまや異なった事態に当面しようとしている。回復を通じての成長は終わった。今後の成長は近代化によって支えられる。
- C 前進を続ける世界経済へ復帰するためにわが国経済は今から縮小—正常化—発展の三つの関門をくぐらねばならない。
- D このような加速の契機となっているのは、太平洋地域ではアメリカ・日本を中心とするハイテク化と、中国の自由化・開放政策であるといえよう。
- E それはこれまでのような量的側面中心の拡大だけではなく、より質的な側面、たとえば、経済の安定性や安全性の確保、世界経済と日本経済の一層の調和に重点を置いた発展でなければならない。

問 4 下線部(ウ)とされた耐久消費財のうち、普及率が最も早く 90% を超えたものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。なお、このときの普及率は、「二人以上の世帯の普及率」とする。

- A 電気冷蔵庫
- B 電気洗濯機
- C 白黒テレビ
- D クーラー
- E 乗用車

問 5 文章中の空欄 , , に入るそれぞれの略称の組み合わせとして、正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="4"/>	<input type="text" value="5"/>
A	GDP	IAEA	TPP
B	GDP	IAEA	WTO
C	GDP	IMF	GATT
D	GNP	IMF	WTO
E	GNP	IMF	GATT

問 6 下線部(エ)に盛り込まれた項目の組み合わせとして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 戦争状態の終了 — 平和条約締結後の択捉島・国後島の返還
- B 戦争状態の終了 — 日本の国際連合加盟に対するソ連の支持
- C 戦争状態の終了 — 日ソ両国の農業分野での協力
- D 通商関係の交渉の開始 — 貿易振興のための港の整備
- E 通商関係の交渉の開始 — 平和条約締結後の択捉島・国後島の返還

問 7 下線部(カ)の説明として最も適切なものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 旧安保条約では、アメリカ軍の日本及び極東での軍事行動に関する事前協議が必要であったが、新安保条約では条約付属文書で、それが事後報告でよいと改められた。
- B 新安保条約では、日米双方の施政の下にある領域において、日米いずれか一方に対する武力攻撃に対処することが定められた。
- C 新安保条約では、沖縄返還の方針が定められた。
- D 新安保条約では、日米の自由な貿易・投資を阻む日本の構造障壁の撤廃への努力義務が規定された。
- E 新安保条約では、10年間効力を存続した後は、いずれの締約国も、他方の締約国に対しこの条約を終了させる意思を通告することができるとした。

問 8 下線部(カ)の会談を行った①ソ連の最高指導者、②米国の大統領、およびその当時の③日本の首相の組み合わせとして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A ①スターリン ②ケネディ ③岸信介
- B ①スターリン ②アイゼンハワー ③池田勇人
- C ①スターリン ②ジョンソン ③池田勇人
- D ①フルシチョフ ②ケネディ ③岸信介
- E ①フルシチョフ ②アイゼンハワー ③岸信介

問 9 高度成長期(1955～73年)の企業や産業に関する動きとして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 中小企業の構造改善を図るため、中小企業近代化促進法及び中小企業基本法が公布され、設備・技術・経営管理など中小企業の構造改善が図られた。
- B 鉄鋼の分野では、さらなる国際競争力の強化をめざし、新日本製鉄と住友金属工業が合併した。
- C 流通の分野では、スーパーマーケットが成長し、1972年にイトーヨーカ堂が百貨店の三越を抜いて売上高で第1位となった。
- D 日本の対米貿易収支の黒字が増加したため、米国は、通商法 301 条における報復措置の発動の構えをみせながら、日本に対し自動車輸出の自主規制を求め、農産物の自由化を迫った。
- E 財政支出と低金利政策によって積極的な民間投資が継続したが、過剰な融資により住宅金融専門会社が破たんした。

問10 高度成長の末期以降(1970年代)に起こった次の①～③の出来事について、古い順に正しく並べたものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- ① 世界不況を打開するため、米・英・仏・西独・伊・日の6カ国首脳がフランスのランブイエで会談した。
- ② 米国は、金とドルとの交換停止や10%の輸入課徴金などを骨子とする新経済政策を発表した。
- ③ イスラエルとエジプト・シリア・ヨルダン・サウジアラビアとの間で第四次中東戦争が開戦した。

A ①→②→③

B ①→③→②

C ②→①→③

D ②→③→①

E ③→②→①

